



第 184 回 学長定例記者会見

日時：令和 7 年 10 月 31 日（金）11：00～11：30

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

サブ会場：広島大学東千田キャンパス A304 棟中会議室

※サブ会場は、テレビ会議システムによるオンライン参加

※ 会見終了後、YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 第12回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式と記念講演会の開催（11/19開催）
～被爆体験の継承と平和への貢献に尽力された小倉桂子氏を顕彰～
2. 米国等の大学・研究機関在籍の若手研究者受入れに関する報告
3. 第 19 回広島大学ホームカミングデーを 3 キャンパス（東広島、霞、東千田）で開催します（11/1、11/8、11/13 開催）
4. クラウドファンディング公開のご案内
広島農業と広島生をつなぐ 規格外農産物で地域と学生が元気な広島へ
（10/27～1/23 募集）

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. 総合博物館イベント
第 33 回ふむふむギャラリー
「標本の声を聴く-バックヤードから出てきました-」を開催します
（10/29-12/20 開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 7 年 11 月 25 日（火）

場所： 広島大学 東広島キャンパス



令和 7 年 10 月 31 日

**第 12 回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」
授賞式と記念講演会の開催（11/19 開催）
～被爆体験の継承と平和への貢献に尽力された小倉桂子氏を顕彰～**

広島大学は、ワークライフバランスのための環境整備や女性研究者の研究力強化、より革新的・学際的な活動をサポートすることなどを目的として、女性研究者の支援に積極的に取り組んでまいりました。

平成 25 年には、本取り組みの一環として、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

賞名の由来は、フェニックスと並んで広島大学のシンボリックな存在であるメタセコイアの樹木のように、女性が個性と能力を存分に発揮し、世界中で力強く活躍することに願いを込めたものです。

被爆 80 年となる今年、第 12 回の受賞者として、被爆の実相を世界中の人に伝える強い信念をもって、長年にわたりご自身の被爆体験を英語で伝える活動を続けてこられたことなどが評価され、被爆体験証言者で「平和のためのヒロシマ通訳者グループ」代表の小倉桂子氏に授与することを決定しました。

この度、受賞者である小倉桂子氏をお招きし、第 12 回授賞式及び記念講演会を以下のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

【受賞者】

被爆体験証言者・平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表 小倉桂子氏

【日時】

令和 7 年 11 月 19 日（水）14 時 00 分～15 時 15 分

授 賞 式：14 時 00 分～14 時 20 分

記念講演会：14 時 20 分～15 時 15 分

【開催方法】

オンラインによるライブ配信

※当日取材をご希望の報道機関の方は、事前に下記のお問い合わせ先へご連絡ください。会場は、広島大学東広島キャンパス法人本部棟 5F1 会議室となります。

【申込方法】

以下 URL より必要事項を入力の上、お申込みください。

<https://forms.office.com/r/AqxCYOeuBt>

【申込締切】

令和 7 年 1 1 月 1 4 日（金）

【定員】

なし

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 研究推進グループ 上代（じょうだい） TEL:082-424-5289 FAX:082-424-6189
--



第12回 広島大学女性活躍促進賞 「メタセコイア賞」



授賞式・記念講演会

令和7年**11月19日**(水) 14:00~15:15
(授賞式/14:00~ 講演会/14:20~)

オンライン
開催

広島大学では、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、平成25年度から表彰を行っています。

受賞者

被爆体験証言者
平和のためのヒロシマ通訳者グループ 代表

小倉 桂子 氏



<受賞者略歴>

1937年生まれ。8才の時に爆心地より2.4キロの広島市牛田町で被爆。1959年広島女学院大学英文学部卒業。広島平和記念資料館の館長を務めた夫を1979年に亡くし、その後を継ぐように、海外から広島を訪れる作家、ジャーナリスト、平和運動家などの通訳、コーディネート始める。1984年「平和のためのヒロシマ通訳者グループ」(HIP)を設立、被爆の実相を英語で世界に語り継ぐ活動を続けてきた。2005年広島市民賞(HIP)、2013年第25回谷本清平和賞を受賞。近年では、2023年の広島G7サミットで各国首脳へ自らの被爆体験を証言したほか、2024年にノルウェー・オスロで開催された日本被団協のノーベル平和賞受賞を記念したフォーラムでも被爆体験を証言した。

お申込みは
こちらから

※要事前申込



以下のURLからもお申込みいただけます。

<https://forms.office.com/r/AqxCY0euBt>

お申込期限
11月14日(金)

これまでの受賞者

第1回	平成25年度 (2013)	公益財団法人広島男女共同参画財団(エソール広島) 理事長 長尾 ひろみ 氏
第2回	平成26年度 (2014)	イクメン企業同盟ヒロシマ (代表:湯崎 英彦 広島県知事)
第3回	平成27年度 (2015)	広島ガス・アルペンスノーボード選手 竹内 智香 氏
第4回	平成28年度 (2016)	独立行政法人 酒類総合研究所 理事長 後藤 奈美 氏
第5回	平成29年度 (2017)	福山大学 学長 松田 文子 氏
第6回	平成30年度 (2018)	俳人・エッセイスト 夏井 いつき 氏
第7回	令和元年度 (2019)	キャスター 国谷 裕子 氏
第8回	令和2年度 (2020)	株式会社今田酒造本店・代表取締役・杜氏 今田 美穂 氏
第9回	令和3年度 (2021)	オペラ歌手・広島大学客員教授 中丸 三千繪 氏
第10回	令和4年度 (2022)	株式会社メンテックワールド代表取締役 小松 節子 氏
第11回	令和5年度 (2023)	東北大学名誉教授 原山 優子 氏



高校生・受験生の方

広大へ留学希望の方

一般・地域の方

企業・研究者の方

卒業生の方

保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活
・就職

研究

社会・産学連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

[Home](#) > [大学案内](#) > [キャンパスぶらり散歩](#) > [広島大学の象徴となる樹木](#)

理念・ビジョン

広島大学長

アイデンティティ

中期目標・中期計画・年度
計画・実績報告書

大学概要

統合報告書・ファクトブ
ック

主要会議

受章・表彰

本学の取り組み

自己点検・評価

公表情報

情報公開制度・公文書管
理・個人情報保護

法令順守への取り組み

入札情報等

ネーミングライツ

兼業依頼

出張依頼

共催・後援等名義使用申請

校友会・同窓会

キャンパス見学のお問い合
わせ・申し込み先

キャンパスぶらり散歩

オンラインキャンパスツア
ー

キャンパスカメラ

ここがええね！広大

[English](#) >

広島大学の象徴となる樹木

フェニックス（ヤシ科）Phoenix canariensis



フェニックス前で記念撮影する

森戸初代学長



移転前の東千田キャンパス

正門前のフェニックス



東広島キャンパス国際の森の

コモ巻きをしたフェニックス

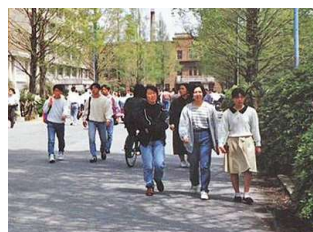
別名、カナリーヤシとも呼ばれるカナリア諸島原産の常緑高木。

ギリシャ神話に出てくる「フェニックス」（不死鳥、自分の身を焼いて再び灰の中から生き返るといわれ、日毎に沈んでは昇る太陽の象徴でもある）にあやかって、この木を原爆の廃墟から再生する新広島大学のシンボルとしました。学章のデザインにもその葉が図案化されて用いられています。

戦後、ウェスレイアン大学（米国）からの寄付金により購入された苗木は、東千田キャンパスの正面前入口道路の左右にそれぞれ3本ずつ植えられ、半世紀以上たった今も東千田の地に残っている広島大学の正門前にて成長を続けています。

東広島キャンパスでは、新たに購入された株が中央図書館南の国際の森に植えられています。フェニックスは比較的寒さには強い木ですが、冬季は、むしろを用いたコモ巻きを行って寒さ対策を行っています。

メタセコイア（スギ科）Metasequoia glyptostroboides



東千田キャンパスの

森戸道路のにぎわい



東広島キャンパスに育つ

メタセコイア



メタセコイアは、世界で最初に日本で化石として発見されましたが、1945年に中国四川省、湖北省に自生していることが判明し、世界が驚いたといういわれのある木です。その後、現地を調査した米国の植物学者が持ち帰った種子から養成した苗木が世界の各国に配布され、日本にも1949年頃渡来しています。

東千田キャンパスにおいて大学のメインストリートの街路樹を何にするかを論議した際、かつて日本にも育ち、中国に生き残り、米国で育成された、日本的でしかも国際的なメタセコイアが選ばれました。「森戸道路」と呼ばれて親しまれたメインストリートのメタセコイア並木は、フェニックスについて広島大学のシンボリックな存在でした。

大学移転と共にキャンパスの建物のほとんどは取り壊されましたが、メタセコイア並木の一部は東千田公園として残され、当時の面影を今でも伝えています。

移転前、東千田キャンパスの理学部植物園に植えられていたメタセコイアのうちの2本が東広島キャンパスに移植されました。



[サイトマップ](#) |

[交通アクセス](#) |

[お問い合わせ](#)

[高校生・受験生の方](#)
[広大へ留学希望の方](#)
[一般・地域の方](#)
[企業・研究者の方](#)
[卒業生の方](#)
[保護者の方](#)

[大学案内](#)
[入試情報](#)
[教育・学生生活](#)
[研究](#)
[社会・産学連携](#)
[留学・国際交流](#)
[学部・大学院等](#)
[研究所・施設等](#)

[広報・報道](#)
[採用情報](#)
[校友会・同窓会](#)
[広島大学基金](#)
[教育研究支援財団](#)
[図書館・博物館等](#)
[大学病院](#)
[附属学校](#)

[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright © 2003- 広島大学

第 184 回 学長定例記者会見 発表事項 2

令和 7 年 10 月 31 日

米国等の大学・研究機関在籍の若手研究者
受入れに関する報告

広島大学は 2025 年 5 月 29 日、米国政府の政策変更により、米国内での研究活動の継続が困難となった優秀な若手研究者を、国際的な研究環境の維持と発展に寄与するため、積極的に受け入れる方針を決定しました。米国内の研究者に限定せず、幅広く本学の若手研究者受入れ枠を活用した、育成助教、選抜助教としての雇用準備を進めてきました。

この度、厳正な審査の結果、研究力の高い 5 人の若手研究者の採用を決定したことをお知らせします。

●雇用制度

1. 育成助教制度

ポスドクや若手研究者のうち、広島大学の教員がメンターとして推薦する者を対象に、育成助教として 3 年間の雇用を行うもの。

2. 選抜助教制度

博士課程後期修了見込み、または博士号取得後間もない若手研究者のうち、広島大学の教員がメンターとして推薦する者を対象に、選抜助教として 2 年間の雇用を行うもの。

●募集数：最大 44 人

●米国等の研究者からの問合せ数：17 人

●そのうち応募数：7 人

●各専門領域での選考数：5 人（育成助教 1，選抜助教 4）

職名	専門領域	受入部署
育成助教	農学・生物学	IDEC 国際連携機構
選抜助教	人文学	外国語教育研究センター
	数学・情報学	大学院先進理工系科学研究科
	農学・生物学	瀬戸内 CN 国際共同研究センター
	健康科学	大学院医系科学研究科

●令和 8 年度計画の若手研究者受入れ数：37 人

【お問い合わせ先】

財務・総務室人事部

教員人事グループ 林

TEL:082-424-5783 FAX:082-424-6030



第 184 回 学長定例記者会見 発表事項 3

令和 7 年 10 月 31 日

第 19 回広島大学ホームカミングデーを
3キャンパス（東広島、霞、東千田）で開催します

広島大学では、東広島キャンパスで令和 7 年 11 月 1 日(土)、霞キャンパスでは、11 月 8 日(土)、東千田キャンパスでは、11 月 13 日(木)に第 19 回広島大学ホームカミングデーを開催いたします。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員、地域の皆様などを招待し歓待するイベントとして、毎年実施しています。

今回は、東広島キャンパスでは、広島大学サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式、広島大学統合報告書 2025 の報告会を実施し、作家・日本大学理事長の林真理子（はやし まりこ）氏による講演会「私が学んできたこと」を開催します。会場の外では連携市町等による物産展や学生による体験・展示ブース、ステージパフォーマンスも予定しています。

また、霞キャンパスでは、大阪大学名誉教授の仲野 徹（なかの とおる）氏及び広島大学名誉教授の鎌田 七男（かまだ ななお）氏をお迎えし、それぞれ「エピジェネティクスってなに？-『遺伝子スイッチ』の基礎から臨床応用まで-」、「大学プロジェクト研究 53 年間の結論・『生涯虐待』」と題して、特別講演会を開催、東千田キャンパスでは、広島大学特別招聘教授モーリー・ロバートソン氏と法学部教員が、卒業生・在学生とともに現在の世界情勢と平和について考える講演会を開催します。

なお、東広島キャンパスでは、大学祭、教育学部祭 E-storm を、霞キャンパスでは、霞祭を同日開催いたします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※詳細内容については、チラシ及び校友会だより第 38 号（1-4 頁）をご覧ください。当日取材を希望される場合やご不明な点等がございましたら、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

○【会報誌】校友会だより

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/exchange/dayori>

【お問い合わせ先】

基金室（校友担当）山崎、内城

Tel：082-424-4403/Fax：082-424-6179

E-mail：soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

ホームカミングデー

林 真理子氏 講演会

「私が学んできたこと」

十一時三十五分〜

入場
無料

作家・学校法人 日本大学理事長
林 真理子氏

日本大学芸術学部文芸学科卒業。1982年エッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』を出版。1986年『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞受賞。2000年 直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。2020年「同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数」としてギネス世界記録™認定。2018年 紫綬褒章受章。2020年第68回菊池寛賞受賞。2022年より学校法人日本大学理事長に就任。

事前予約不要：当日先着800名

広島大学ホームカミングデーは広大を楽しむイベント。毎年11月第1土曜日に開催します。
講演や企画展などイベントも盛りだくさん！みなさん、ホームカミングデーにお越しください！

2025年 11月1日(土)開催

サタケメモリアルホール 開場 9:35〜
東広島キャンパス

広島大学サタケメモリアルホール

大学祭・教育学部祭E-stormも同日開催！



会場アクセス



Hiroshima University Alumni Association
広島大学校友会

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2
E-mail soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL (082) 424-6015

詳しい情報を随時お知らせします▶





第19回広島大学ホームカミングデー

入場無料
予約不要



日時: 2025年11月1日(土)

場所: 東広島キャンパス 広島大学サタケメモリアルホール 他

プログラム

9:35 ▶ 広島大学サタケメモリアルホール開場

10:00 ▶ オープニングセレモニー

学長挨拶

越智光夫

広島大学長、広島大学校友会会長

表彰式

『広島大学

統合報告書2025』報告会

大学歌合唱

11:15 ▶ 歓迎コンサート

11:35 ▶ 講演会

作家・学校法人 日本大学理事長

林 真理子氏

テーマ「私が学んできたこと」

15:00-16:30 ▶ 懇親会 会場: 学士会館

15:30 ▶ 教育学部企画オペラ



越智光夫 広島大学長

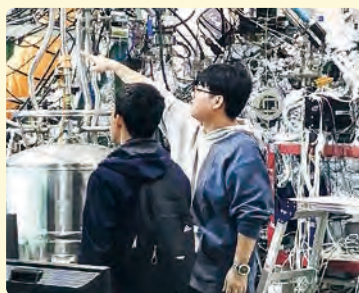


林 真理子氏

各学部・研究科等企画

2025年11月1日(土) 9:30-

各学部・研究科等が、趣向を凝らした楽しい企画を多数ご用意してお待ちしております。ぜひ、お立ち寄りください!



ホームカミング広場、迎える広場ステージ

2025年11月1日(土) 9:30-

サタケメモリアルホール周辺、北1コープショップ・食堂前広場

在学生がステージパフォーマンスやブース出展でおもてなしします。連携市町の物産展では美味しい料理が振る舞われます。



同日実施イベントのご案内

第74回広島大学大学祭

2025年11月1日(土)、2日(日)

10:00-20:00 (両日とも)

場所: 総合科学部周辺

模擬店や催し物、サークルによる展示などを企画しています。スペイン広場特設ステージでは、ゲストライブを予定しています。

詳しくは
コチラから▶



広島大学教育学部祭 E-storm

2025年11月1日(土)、2日(日)

10:00-17:00 (両日とも)

場所: 教育学部周辺

教育学部生ならではのお子さま向け企画や模擬店、ステージ企画を実施します。

詳しくは
コチラから▶



教育学部企画オペラ上演

2025年11月1日(土) 15:00開場 15:30開演

サタケメモリアルホール

大学院人間社会科学研究科、教育学部の学生と教員がオペラを上演します。



2025年度「広島大学地域懇談会」

2025年11月1日(土) 13:30-16:00

経済学部255講義室 他

申込締切/2025年10月5日(日)

2025年度「広島大学地域懇談会」を開催!学部生の保護者・ご家族の皆さまを対象にした「広島大学地域懇談会」を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

詳しくは
コチラから▶



※会場の都合により、申込み締切日より前に締め切らせていただく場合があります。
※開催場所および開催時間は、今後、変更となる場合もあります。その場合は、ウェブサイトにてお知らせいたします。



第 19 回

広島大学ホームカミングデー (霞部局合同企画)

日時・場所

2025年

11月8日(土)

15:00~16:30
(14:15受付開始)

定員 **400**名 ※先着順



広島大学 **霞** キャンパス

(広島市南区霞1-2-3)

凌雲棟5階 R501



※キャンパスへのアクセスはこちら→



テーマ

エピジェネティクスってなに？
－「遺伝子スイッチ」の基礎から臨床応用まで－

略歴

1957年生まれ。大阪大学医学部医学科を1981年に卒業、内科医として3年間勤務の後、ドイツにあるヨーロッパ分子生物学研究所の研究員、京都大学医学部・医化学(本庶研究室)の助手、講師などを経て、1995年に大阪大学微生物病研究所教授、2004年から大阪大学医学系研究科／生命機能研究科教授、2022年に退職。日本医師会医学賞受賞(2012年)。

講師

大阪大学 名誉教授

なかの とおる

仲野 徹 氏



講師

広島大学 名誉教授

かまだ ななお

鎌田 七男 氏

テーマ

大学プロジェクト研究53年間の結論・
「生涯虐待」

略歴

1937年生まれ。広島大学医学部医学科を1961年に卒業。広島大学原爆放射能医学研究所(現:原爆放射線医科学研究所)助手、助教授などを経て、1985年、教授に就任。1997年に所長を務め、2000年に退職。核戦争防止国際医師会議(IPPNW)日本支部理事。永井隆平和記念・長崎賞(2002年)、日本放送協会放送文化賞(2013年)、広島市民賞(2017年)など多数受賞。著書:平和学習書『広島のおばあちゃん』など。



講演会申込
フォーム

参加費は無料！一般の方も大歓迎！



申込は
こちら！

【お問い合わせ先】
広島大学霞地区運営支援部総務グループ
082-257-5013
kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

大学公式HP



<https://forms.office.com/r/sCRPFMT7bv>

－戦後80年にあたる節目の年を迎え、特別招聘教授モーリー・ロバートソン氏と法学部教員が、卒業生・在学生たちと現在の世界情勢と平和について考える－

モーリー先生 と考える広島 と平和

モーリー・ロバートソン氏：
日米双方の教育を受けた後、東京大学とハーバード大学に現役合格。現在はタレントから国際ジャーナリストまで幅広く活躍中。
広島大学特別招聘教授



日時：2025年11月13日（木）16:20～17:50

会場：広島大学東千田キャンパス

慎思棟5階地域連携フロアSENDA LAB

※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください

参加対象者：広島大学卒業生・在学生限定

定員40名（事前申込制）

プログラム

◇モーリー・ロバートソン氏による基調講演
「モーリー流これからの広島、平和へのカギ」

◇ディスカッション

司会：若木憲子氏(テレビ新広島報道部)

パネリスト：広島大学法学部

永山博之教授（国際政治学）

湯川勇人准教授（外交論）

◆ 申込方法：

以下フォームまたはQRコードから申し込み（※切：10/17(金)）

定員(40名)に達し次第、申込は終了といたします

<https://forms.office.com/r/bzLBxmmLfU>

◆ 問い合わせ先：広島大学東千田地区支援室

E-mail：senda-bk-sien@office.hiroshima-u.ac.jp





令和 7 年 10 月 31 日

【クラウドファンディング公開のご案内】

広島の農業と広大生をつなぐ
規格外農産物で地域と学生が元気な広島へ

「広島大学クラウドファンディング」(READYFOR 提携)として、以下のプロジェクトを公開しました。

広島の農業と広大生をつなぐ | 規格外農産物で地域と学生が元気な広島へ

公開期間：令和 7 年 10 月 27 日（月）～令和 8 年 1 月 23 日（金）

目標額：300 万円

資金の活用先：規格外農産物の仕入れ費用（農産物の集荷、選別、
運送等に係る人件費・輸送費、消耗品費）

URL：https://readyfor.jp/projects/HU_crops

【プロジェクト概要】

長引く物価高騰は広島大学の学生にも大きな影響を与えています。学費や生活費を賄うためにアルバイトを増やし、食費を節約しながら生活をする学生も少なくなく、中には一日一食で過ごす学生、十分な栄養が取れない学生もいるようです。

一方で広島には農業に従事する、たくさんの生産者の方がいます。

生産者の方もまた、食品ロスが叫ばれる中で規格外農産物と向き合っています。規格外農産物とは、味や栄養は変わらないにも関わらず、見た目や大きさなどの理由で市場に出回っていない野菜や果物です。生産者の方によって丹精込めて作られた、流通していないだけの美味しい野菜・果物であり、近年さまざまな形での利活用が検討されています。

「十分な栄養が取れていない学生」と「流通していないだけの美味しい野菜や果物」。双方のよりよい未来を目指して、今回「規格外農産物の配布による学生・地域応援のプロジェクト」を立ち上げました。

本学は、クラウドファンディングを活用して寄付金を募り、学生の経済支援の充実、食育、生産者所得の向上、地域連携強化等の実現を目指します。皆様のご理解とともに、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【広島大学におけるクラウドファンディング活用実績について】

本学ではこれまでに 17 件のクラウドファンディングプロジェクトを実施。学生支援、研究促進、地域貢献など、多様な目的での活用実績があります。

■ これまでに実施したプロジェクト（一例）

プロジェクト名（実施年）	概要
広島の考古資料を後世に伝えたいー考古学研究室開設 60 周年記念（2024 年）	文学部考古学研究室の展示ケース修繕と資料保存のための支援募集。
広島と共に。広大×広電 75 + 75 周年ラッピング電車プロジェクト（2024 年）	広島電鉄の路面電車・バスを大学オリジナルデザインでラッピングし、広島市内で 1 年間走らせる記念事業。
しましまレモン～広大生が瀬戸田レモンでスイーツ開発しとるけえ！～（2022 年）	教育学部生が瀬戸田レモンを使ったスイーツ商品を開発・販売。
#広大おはようプロジェクト 学生たちに 50 円で朝食を！（2021 年）	経済的に困窮する学生に“50 円朝食”を提供する取り組み。

※これまでの全プロジェクトについては、以下の二次元コードよりご参照ください。



【お問い合わせ先】

広島大学基金室 木本
TEL:082-424-4435
E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp



広大生に栄養豊かな生活を

地元農業と広大生を元気に！



目標金額 **300万円** 2026年 **1月23日(金)** まで

＼広島大学がクラウドファンディング挑戦中／

広島県の農業と広大生をつなぐ

規格外農産物で地域と学生が元気な広島へ！

※本プロジェクトはAll in 方式のため、目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は寄付金を受け取ります。

長引く物価高騰は広大生にも大きな影響を与えています。
学費や生活費を賄うためにアルバイトを増やし、食費を節約しながら生活をする学生も少なくなく、中には一日一食で過ごす学生、十分な栄養が取れない学生もいます。

一方で広島には農業に従事する、たくさんの生産者様がいます。生産者様もまた、食品ロスが叫ばれる中で規格外農産物と向き合っています。規格外農産物とは、味や栄養は変わらないにも関わらず、見た目や大きさなどの理由で市場に出回っていない野菜や果物です。生産者の方によって丹精込めて作られた、流通していないだけの美味しい野菜・果物であり、近年さまざまな形での利活用が検討されています。

「十分な栄養が取れていない学生」と「流通していないだけの美味しい野菜や果物」。双方のよりよい未来を目指して、今回「規格外農産物の配布による学生・地域応援のプロジェクト」を立ち上げました。集まったご寄付は学生に配布する農産物の仕入れ代金等に充てさせていただきます。

この取組みを通じて、学生の経済支援の充実、食育、生産者所得の向上、地域連携強化等を同時に実現し、将来的にはプロジェクトの自立的な継続を目指します。
皆様のあたたかいご支援をお願いいたします！

広島大学 農産物 レディーフォー



 READY FOR

お問い合わせ先 広島大学基金室

https://readyfor.jp/projects/HU_crops

EMAIL : soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-4435 FAX : 082-424-6179



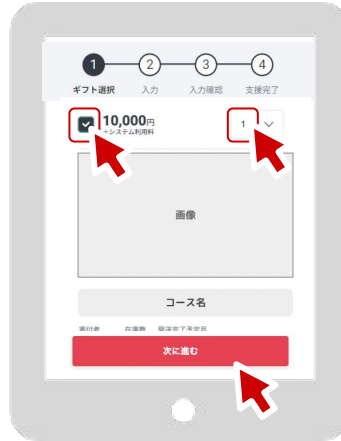
ご寄付の方法

「広島大学 レディーフォー」で検索。または表面の二次元コードを読み込んでください。
途中で新規登録を行った場合は、再度手順1から操作となるため、先にアカウント作成をお願いいたします。

1 プロジェクトの寄付にすむをクリック



2 希望するコースにチェックを入れ個数を選択し次に進むをクリック



3 はじめて利用する方は新規登録へをクリック



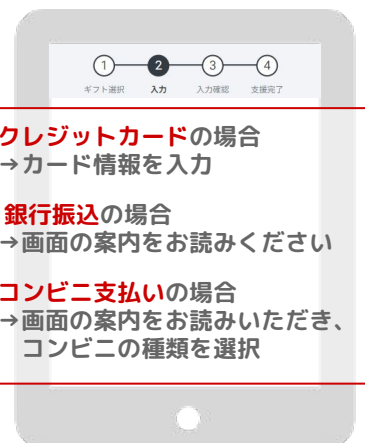
4 情報を入力しメールアドレスで登録をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力



- ★クレジットカードの場合
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください
- ★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額＋システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。

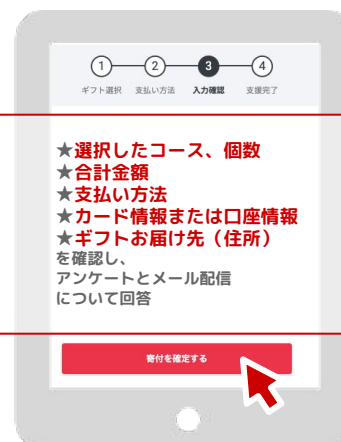


入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

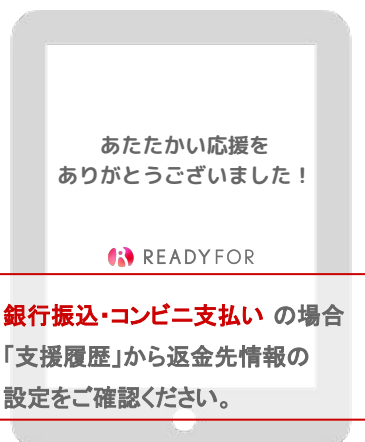
7 ギフトお届け先(住所)を入力し入力内容の確認画面へをクリック



8 入力情報を最終確認し、寄付を確定するをクリック



お手続き完了です！





令和 7 年 10 月 31 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) J-PEAKS が拓く未来とは？

ー 異分野融合をテーマに対話イベント「研究井戸端トーク」を開催

本学では、研究者の気軽な交流の場をインフラとして提供することを目的に、対話イベント「研究井戸端トーク」を 2020 年 12 月より開催しています。

今回は、「J-PEAKS ってなに？ 研究者が語る未来」と題し、J-PEAKS の重点領域である放射光、半導体、超物質、バイオ分野の第一線で活躍する研究者が登壇。それぞれの研究の魅力や、分野の垣根を越えた連携の可能性について、ざっくばらんに語り合います。学内外の研究者・大学院生、企業・一般の方など誰でも参加いただけますので、皆様のご参加をお待ちしております。



研究井戸端トーク 『J-PEAKS ってなに？ 研究者が語る未来

～放射光×半導体×超物質×バイオの融合が拓く可能性～』

【日時】 11 月 27 日(木) 16:30～18:00

【開催形態】 現地 & オンライン (Zoom) ハイブリッド開催

【現地開催場所】 広島大学ミライクリエ多目的スペース

(東広島市鏡山一丁目 4 番 5 号 *東広島キャンパス南側)

【参加対象】 学内外の研究者・大学院生、企業・一般の方など誰でも！

【内容】 話題提供者からの短い話題提供後、自由なディスカッション

【定員】 約 30 人

【参加費】 無料

【登壇者】

司会・ファシリテーター (放射光)
・奥田 太一 教授 (放射光科学研究所)

話題提供者

- ・【半導体】 横川 凌 助教 (半導体産業技術研究所)
- ・【超物質】 小鳥居 祐香 准教授 (大学院先進理工系科学研究科)
- ・【バイオ】 青井 議輝 准教授 (大学院統合生命科学研究科)



【参加登録はこちら】

<https://hcfs.hiroshima-u.ac.jp/research-strategy/idobata-talk/news/5576>

(2) 放射光科学研究所が「実験実例集」を公開しました

広島大学放射光科学研究所（HiSOR）は、放射光を活用した先端研究を紹介する「実験実例集 2024（日本語版・英語版）」と、研究所の活動を紹介する動画を公開しました。

HiSOR のビームラインは、物質の性質に関わる電子構造や電子のスピン状態を世界最高水準の高解像度での可視化、また生体高分子の溶液中でのリアルタイム分析など、独自の先端計測技術を有しています。実例集では、この独自の技術により「物質が見える化」し、材料・生命・環境など多様な分野で展開されてきた研究成果を収録しています。

HiSOR は J-PEAKS 事業の重点拠点として、放射光を軸に異分野融合研究を推進し、新たな学際的知の創出を目指しています。HiSOR との共同研究にご興味ある研究者や企業の皆様、ぜひ実例集をご覧ください。



【実験実例集 2024】

<https://hsrc.hiroshima-u.ac.jp/topics/20251003.html>



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【J-PEAKS 特設ウェブサイト】 <https://j-peaks.hiroshima-u.ac.jp/>



【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略グループ 前田
TEL:082-424-5656
Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

J-PEAKSってなに？ 研究者が語る未来

・・・放射光×半導体×超物質×バイオの融合が拓く可能性・・・

「J-PEAKS」って聞いたことありますか？

広島大学は、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択され、令和6年度より始動しています。現在本学では、「放射光による物質の見える化技術」を中核に、半導体・超物質・バイオといった異なる分野が垣根を越えてつながり、新しい産業の芽を地域から生み出すための研究と連携の仕組みづくりを進めています。でも、実際にはどんな研究が行われているの？そんな素朴な疑問にお応えすべく、今回はJ-PEAKSの重点分野で活躍する研究者3名が登場し、それぞれの専門分野で展開されている最先端の研究内容をわかりやすくご紹介します。さらに、一見バラバラに見える分野がどうやって“融合”していくのか。未来のコラボレーションの可能性について、研究者たちがざっくばらんに語ります。研究者・学生・企業の方など、どなたでも大歓迎！
広島大学の新しい挑戦、ちょっとのぞいてみませんか？

2025 **11/27** 木 16:30 ▶ 18:00

内 容

第一部
簡単な話題提供

第二部
参加者も含む自由な対話

※軽食・ソフトドリンク提供、アルコール実費販売

対 象

どなたでも

学内外の研究者・大学院生、企業・一般の方々 etc

開催形式

現地会場 | ミライクリエ多目的スペース

ハイブリッド開催（現地&オンライン（Zoom））



申込は
こちら

<https://forms.office.com/r/0Y0PFRUBE9>

司会



放射光

奥田 太一 教授
放射光科学研究所

放射光を用いた光電子分光、特にスピン分解光電子分光を用いて物質表面特有の電子状態を研究しています。また、表面研究の新しい装置開発も行っています。

話題提供



半導体

横川 凌 助教
半導体産業技術研究所

IoTやAI社会へ向けた最先端半導体材料の物性評価を行っています。また、デバイス作製にも取り組み超低消費電力化と無給電素子の創成を目指しています。



超物質

小鳥居 祐香 准教授
先進理工系科学研究科

専門分野はトポロジ。結び目理論の基礎研究の他、他分野との共同研究にも積極的に取り組まれています。WPI持続可能性に寄与するキラノット超物質拠点メンバー。



バイオ

青井 議輝 准教授
統合生命科学研究科

自然界に数多い“培養できない微生物”を独自技術で分離・培養し、その特性を解明しています。また産業応用に向けた技術開発にも取り組んでいます。



第 184 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 7 年 10 月 31 日

広島大学総合博物館イベント開催のお知らせ
第 33 回 ふむふむギャラリー
「標本の声を聴くーバックヤードから出てきましたー」

令和 8 年（2026 年）に開館 20 周年を迎える広島大学総合博物館では、第 33 回ふむふむギャラリー※「標本の声を聴くーバックヤードから出てきましたー」を開催します。

本展では、戦前の広島大学前身校で購入・製作され、研究・教育に用いられた標本、戦後の学術標本、そして近年新たに収蔵された標本まで、広島大学の教育・研究の歩みとともに受け継がれてきた標本の数々を紹介します。

中には、今では製作が困難となったものや、逆に現代だからこそ製作が可能になった標本も含まれています。

今回初展示となるのは、広島で活動する剥製師が製作したキジハタの剥製、本学学生が製作したベニズワイガニの標本および、3D プリンターで製作したメバルのフィギュアです。

それぞれの標本が持つ「記憶」と「物語」に耳を傾け、学びの深さと時代を超えた価値を体感いただける展示です。

■ 開催概要

期間：2025 年 10 月 29 日（水）～ 12 月 20 日（土）

開館日時：水～土曜日 10:00 ～ 17:00 （最終入館時間 16:30）

休館日：日・月・火曜日、祝日

（ただし、11 月 2 日（日）は開館）

会場：広島大学総合博物館 本館（広島県東広島市鏡山 1 丁目 1-1）

展示標本：約 40 点

入館料：無料

※ふむふむギャラリーとは…

広島大学総合博物館が定期的に行っている小規模企画展シリーズです。

名前の「ふむふむ」は、来館者が展示を見ながら「ふむふむ（＝なるほど）」と頷くような、気づきや学びが得られる場にしたいという思いが込められています。

【初展示物の紹介】



キジハタの剥製



ベニズワイガニの標本



メバルのフィギュア

【お問い合わせ先】

広島大学総合博物館

担当：池田 礼

TEL:082-424-4212

MAIL:museum@hiroshima-u.ac.jp

第33回ふむふむギャラリー

標本の声を聴く



バックヤードから出てきました

【期間】 2025年 10月29日(水)－12月20日(土)

【休館日】 日曜日（11月2日は開館）・月曜日・火曜日・祝日

【開館時間】 10時－17時（入館は16時半まで）

【会場】 広島大学総合博物館本館 [入館無料]